

習志野市立第二中学校 技術・家庭科（家庭）第2学年 シラバス

【学習の目標等】

- (1) 実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な家族・家庭生活に関する基礎的な知識と技術を習得しよう。
- (2) 課題をもって健康・快適・安全で豊かな家族・家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して生活に係る課題を解決する力を養い、実践しよう。
- (3) よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けよう。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	・生活の自立に必要な食生活に関する基礎的な知識、技能を身に付けている。 ・消費や環境に関する生活の自立に必要な基礎的な知識、技能を身に付けている。	ノート ワークシート レポート 調理実習 テスト
思考・判断・表現	・自分と家族・家庭や地域における食生活（日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画含む）の中から問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現したり、解決する力を身に付けている。	授業中の発表 行動観察 ノート ワークシート レポート テスト
主体的に 学習に 取り組む態度	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい食生活、消費や環境に関する自立への実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	授業中の発表 行動観察 ワークシート 評価カード

【教科担任からのメッセージ】

(1) 技術・家庭科（家庭分野）の学習について

授業で学んだことを日常生活の中で実践してこそ意味がある教科です。課題を解決する力やより豊かな生活を送るための術を身に付けていきましょう。そのためには、主体的に取り組み、周りの人と協力して、共に力を伸ばしていくことが大切です。

(2) 授業の持ち物

教科書、ノート（昨年から使用しているもの）、ワーク（昨年から使用しているハンドノート）、タブレット、エプロン、三角巾、マスク、ふきん

(3) 授業の進め方・学習のポイント

考えることを大切にしながら、積極的に授業に参加しましょう。また、提出物は、期限を守って必ず出しましょう。

日々の生活に疑問を持ち、学んだことを意識的に日常生活で実践しましょう。

(4) 家庭学習について

授業内で終わらなかった課題については、家庭学習で進めておくようにしましょう。

【学習計画】（週時間数 2 時間（前期））

	題材・学習内容	学習のねらい
1 学期	〔食事の役割と中学生の栄養の特徴〕 ①食事の役割 ②私たちの食生活 ③栄養素の種類と働き ④中学生に必要な栄養 〔中学生に必要な栄養素を満たす食事〕 ①食品に含まれる栄養素 ②6つの食品群と食品群別摂取量の目安 ③バランスの良い献立作り 〔調理のための食品の選択と購入〕 ①食品の選択と購入 ②生鮮食品の特徴 ③加工食品の特徴 ④食品の保存と食中毒の防止 〔日常食の調理と地域の食文化〕 ①日常食の調理 ②野菜・いもの調理 ③肉の調理 ④魚の調理 ⑤日本の食文化と和食の調理 〔持続可能な食生活を目指して〕 ①持続可能な食生活を目指して	・栄養素の種類や水の働きについて知り、栄養素をとる必要性についてまとめる。 ・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的な特徴を調べる。 ・1回に食べやすい食品に含まれる栄養素の量を知らせることにより、いろいろな食品を組み合わせて食べる必要性があることを実感し、献立作りに役立てる。 ・食品を用途に応じて選択するために必要な情報を収集・整理し、適切な選択をするための工夫を考えることができるようにする。 ・食品の安全と衛生に留意した管理や食中毒について理解する。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・よりよい食生活の実現に向けて、日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとする。
2 学期	〔私たちの消費生活〕 ①消費者としての自覚 ②購入方法と支払い方法	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について確認する。 ・具体的な買い物場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。
	【技術分野】	
3 学期	【技術分野】	